

令和7年度 夢風船 事業計画書

1 はじめに

平成26年11月の事業所開設から10年が経過した。多くの利用者は長年の通所により、見通しをもって、安定して過ごしているように感じている。また、職員も経験年数が高い職員が増え、利用者との関係性、業務水準、チームワークに安定感を感じる一方で、利用者と職員の距離感の近さから、配慮不足や問題行動への行き過ぎた対応など、反省すべき点多々あったと感じている。ここ数年、利用者やその家族の高齢化に伴う生活基盤の再構築や予防的措置の必要性が大きな課題として顕在化してきている。求められる支援の幅が広がりつつあり、事業所内での活動のみでなく、医療など地域の社会資源との連携や、先を見据えた緊急時対応、住まいの確保など事業所が取り組むべき課題は多い。事業所内の活動の充実とともに、利用者の生活や生涯の人生設計を総合的に考え、「安心」と「充実」に向けて積極的に役割を果たしていく必要があると考えている。

2 事業概要

1) 施設名	夢風船
2) 事業種別	生活介護
3) 所在地	東京都小平市小川町2—1931—1
4) 経営主体	社会福祉法人未来
5) 利用定員	20名
6) 利用現員	28名
7) 法人認可年月日	平成14年12月11日
8) 事業開始年月日	平成26年11月1日
9) 職員	管理者 1名 サービス管理責任者 1名（常勤換算1.0） 生活支援員 17名（常勤換算14.4） 看護職 2名（常勤換算1.6） 嘱託医 1名

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援。
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
- 3) 安心と希望の持てる生活。

4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 利用者への相談支援
- 6) 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① 資源回収作業
- ② 弁当配達回収作業
- ③ 市内児童公園清掃受託事業
- ④ シュレッダー作業
- ⑤ P C 入力作業
- ⑥ 法人H P 更新作業
- ⑦ 折紙製品作成作業
- ⑧ その他受注作業

2) 生活支援事業

- ① 入浴（毎日）
- ② 運動プログラム（ストレッチ・口腔体操・歩行訓練・腹筋運動・下肢運動・ウォーキング等）
- ③ バイタルチェック（朝・入浴前）
- ④ 夕方生活支援事業（利用者の余暇支援事業）

3) 行事

- 4月 利用者永年勤続表彰式
- 5月 運動会
- 6月 レクリエーション
- 7月 レクリエーション
- 8月 川遊び
- 9月 レクリエーション
- 10月 レクリエーション
- 11月 旅行
- 12月 忘年会
- 1月 新年会・初詣
- 2月 レクリエーション
- 3月 レクリエーション

6 日 課

- 開所・送迎 8:30～9:00
- 朝礼・活動準備 9:00～10:00
- 健康チェック
- 活動の確認
- 活動 10:00～11:30
 - 作業（資源回収作業／弁当配達回収作業／清掃作業／P C 作業 等）
 - 作業（室内軽作業）
 - 運動プログラム
 - 入浴
- 昼食・休憩 11:30～13:30
- 昼礼 13:30～13:35
- 活動 13:35～15:50
 - 作業（資源回収作業／弁当箱回収作業／清掃作業／P C 作業 等）
 - 作業（室内軽作業）
 - 運動プログラム
 - 入浴

終礼	15:50～16:00
送迎・清掃	16:00～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

7 重点課題・目標

1) 活動

1 F— (1) 利用者の主体性の向上に向けた活動

朝礼等の司会の他、利用者が参加する場面を設ける。また、作業内容や方法等について、自ら考える場面を増やし、活動に向けた意欲と主体性の向上を図る。

2 F— (1) 利用者の安全確保

利用者個々の特性を理解のうえ、見守りの強化や精神的な安定に向けた環境設定やコミュニケーションにより、離接や他害行動、自傷行為などの防止を徹底する。

1・2 F 共通—

(1) 利用者の生活全般にわたる支援の充実。

本人や家族の高齢化等による生活基盤が脆弱化しつつある利用者等に対して、相談支援の充実、衛生保持、健康管理、日常の軽微な事柄への支援、専門機関への連絡調整、将来の居住環境整備に向けた準備など幅広く柔軟な支援を行う。

(2) 各利用者の可能性の発見と伸長にむけた活動（作業）の開拓と支援

活動や生活場面において、自分で考える機会の保障や継続により生活能力や作業能力の向上を図る。また様々な経験を通して能力や興味関心の発見とその伸長を目指すことで、一人ひとりがやりがいをもって生活できるように支援を行う。

(3) 健康管理の充実

- ① 新型コロナウイルス感染症などへの感染症対策を徹底する。
- ② 一人ひとりの健康管理や衛生保持、また身体機能の維持向上を丁寧に行うとともに、疾病、けが等への迅速な対応を行う。

2) 人材育成

(1) リーダー層の育成

(2) PDCAサイクルの実施による利用者支援スキルの向上

(利用者の心情理解、問題行動への冷静な対応)

(3) 職員間の連携協働体制の強化（内部牽制強化）

(4) サービス管理責任者、強度行動障害支援者等の資格取得促進

3) 経営管理

(1) 介護給付費の安定確保

- ① 1日平均利用者20人を目標とし、利用者の安定通所を図る（令和6年度実績1日平均利用者22.4人、29人在籍通所率75.2%—令和7年1月末現在）。

(具体的方策)

- ・送迎場所や時間など柔軟な対応を行う。
- ・健康状態の確認など家庭やグループホームとの連絡調整を密に行う。

- ② 職員配置数を維持し、職員配置体制加算、重度障害者支援加算の算定を継続する。

(2) 月次試算による状況分析

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。緊急的支出に対し

ては、充当資金の調達のため計画の優先順位を設定する。

(3) 節電等による経費削減

水道光熱費や消耗品など、活動に影響が出ない範囲で節約意識を共有し、経費削減に努める。

8 その他の課題・目標

1) 療養介護入居者の活動体験の受入れ

市内療養介護施設の入居者1名を月に1日活動体験で受け入れることで、入所施設利用者の生活の幅を広げる。

※新型コロナウイルス感染症の流行以降、当該療養介護施設の方針により休止中。当該療養介護施設の許可が出次第次第再開。

9 環境の整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮	管理者
連絡担当	生活支援員
救助担当	生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。